

## 20 広域交通ネットワークの整備促進

提出先 総務省、国土交通省

### 【提案項目】

- 1 東京五輪とその先を見据えた幹線道路網の整備と活用
- 2 橋梁・トンネル等道路施設の老朽化・防災対策
- 3 鉄道網の整備促進

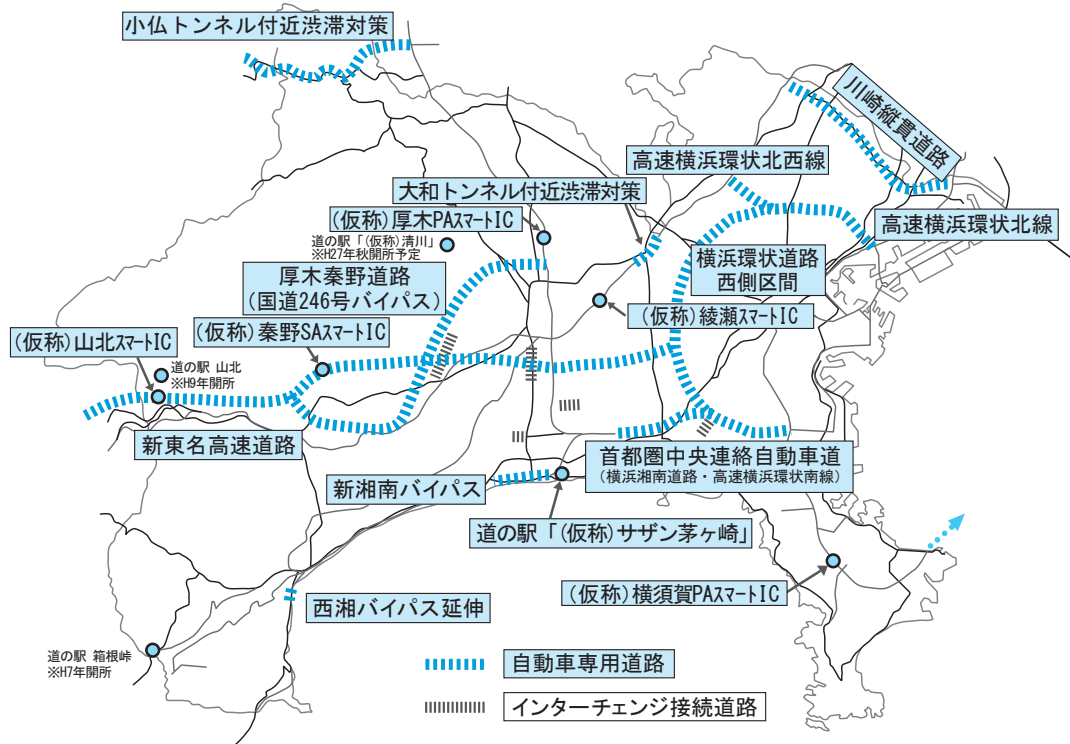
### 【提案内容】

- 項目1** (1) 東京オリンピック・パラリンピックの開催を受け、「横浜湘南道路・高速横浜環状南線（圏央道）」、「新東名高速道路」、「厚木秦野道路」及び「高速横浜環状北線・北西線」の早期整備を図ること。また、新東名高速道路の海老名以東の計画の具体化を図ること。
- (2) 高速道路ネットワークを最大限活用するため、東名高速道路等の渋滞対策やスマートICの整備、また、地方創生を支える道の駅や幹線道路の整備に必要な予算措置を講じること。
- (3) 圏央道や横浜横須賀道路の割高感を解消し、分かりやすい料金体系を早期に実現すること。また、ビッグデータを活用し、混雑状況に応じた料金の導入など、利用者へのサービス向上に努めること。
- 項目2** 高度成長期に集中的に整備された道路施設の高齢化に対応するとともに巨大地震等の大規模災害に備えるなど、国土の強靱化に向けた取組を推進するため、道路施設の老朽化対策、防災・減災施策に必要な予算措置を講じること。
- 項目3** (1) リニア中央新幹線については、整備を促進するとともに、神奈川県駅（橋本）周辺のまちづくりについても、重点的かつ積極的に地方自治体へ財政支援を講じること。
- (2) 寒川町倉見地区の東海道新幹線新駅や藤沢市村岡地区の東海道線新駅等の実現を図るため、駅舎整備への地元自治体の負担を軽減する制度整備や確実な予算措置を講じること。
- (3) 相鉄いずみ野線の延伸、相模線の複線化、東海道貨物支線の貨客併用化、小田急多摩線の延伸などについて、東京圏における今後の都市鉄道に関する基本計画（次期答申）に位置づけること。
- また、既存路線の延伸などによる鉄道ネットワークの形成が着実に図られるよう国による助成制度の拡充を図ることや、新たな支援方策を構築すること。

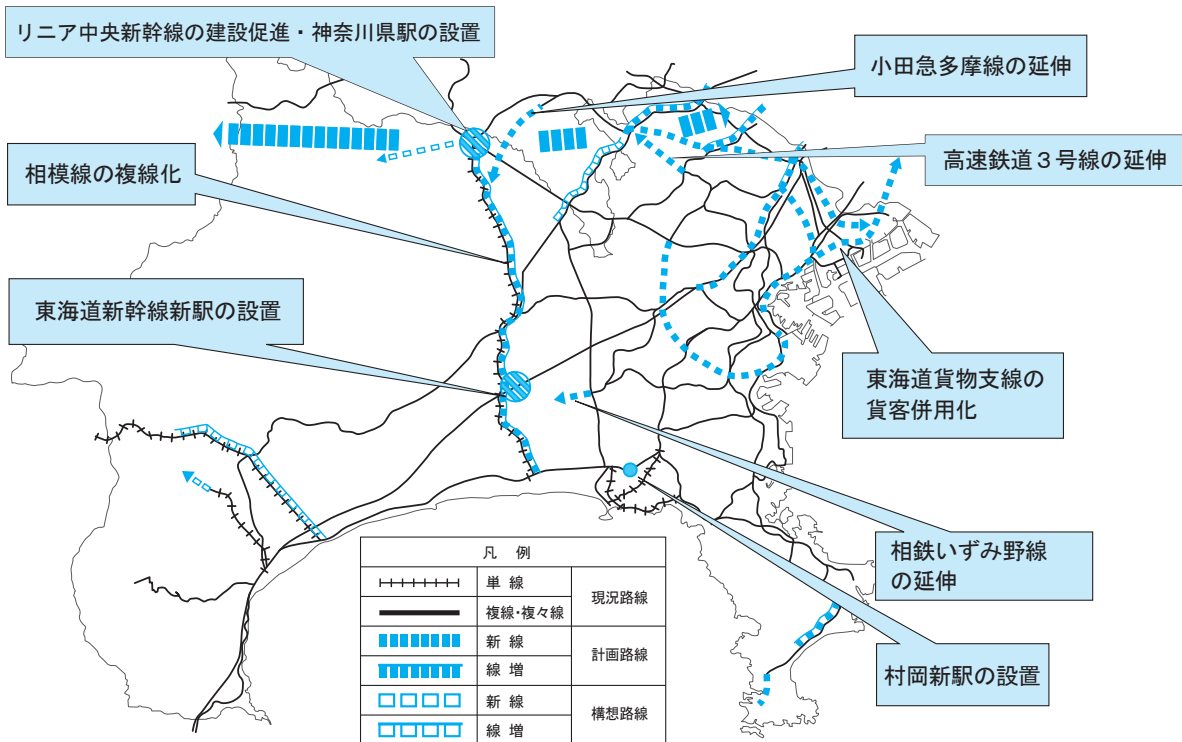
## 【提案理由】

首都圏機能の一翼を担う本県においては、首都圏の各都市や県内地域間の連携を強化し、あらゆる社会経済活動を支える利便性の高い交通ネットワークを形成することが不可欠である。

## 《道路網構想図》



## 《鉄道網構想図》



(神奈川県担当課：県土整備局環境共生都市課、交通企画課、道路企画課、道路管理課)